

小沢市政の評価は

成果と課題は何か

質問

小沢市政の成果と課題を、どう捉えているのか、今後の主要施策の考えについて伺う。

市長

将来に向け持続的に発展するため、財政の健全化に努めた。主に総合水沢病院、岩手競馬、土地開発公社の財政改善に向け、対策を講じた。協働のまちづくりにより地方自治が確立され新たなまちづくりに向けた行政体が構築されつつある。合併後、市の一体感の醸成は道なかなである。次期総合計画を策定する中、安定かつ持続可能なまちづくりに向け、長期的な展望にたち、発展的施策を盛り込み実行していく。

保養施設の現状と課題は

質問

国見、黒滝、衣川荘、舞鶴、ひめかゆそれぞれ保養施設の現状と、今後の活用方策は。

市長

全ての施設は実質赤字である。又、老朽化が進んでおり計画的修繕が



加藤 清 議員(新世会)

必要である。市、および地域においては重要な施設であることから将来の安定的経営を行うため、市民理解を得るなかで、民間移譲を進める。基本的には廃止はせず、どの施設も継続の方向で努力していく。



観光の拠点としての役割が期待されるひめかゆ

「聴覚障がい者の 傍聴を助ける機器を導入」

聴覚障がい者の議会傍聴を助ける機器をこのほど導入しました。発言者の声を送信し、Tコイル(※)内臓の補聴器や人工内耳に対応する受信機をお貸しし使用いただくことで、周りの騒音、雑音に邪魔されずに聞き取ることができます。使用をご希望の方は、事前に議会事務局総務係にお申込みください。

※Tコイル(磁気誘導ループ)：音声などを磁気誘導アンプに通し、電気信号を送った、ループアンテナ内で磁界を発生させ、音声などを補聴器等に直接送り込むための機材のこと。



陸前高田市議会、奥州市議会及び大船渡市議会の議員研修会が8月5日、大船渡市「ゲストハウス大船渡アーバン」を会場に行われました。当日は、(株)東海新報社取締役編集局長の長谷川一芳氏^{かずよし}を講師に迎え「東日本大震災・平成三陸大津波―地元新聞社からの報告―」と題して講演していただきました。

震災発生から5年の節目となる今年、行政等の今後の支援や復興施策に役立ててもらうことを目的として、時間の経過とともに変化する被災者の健康状態や要望などを調査し、報道をし続けています。



第5回陸前高田市議会・奥州市議会・大船渡市議会議員研修会